



古
86

時下逾清勝為國
室を慶賀を以て現
下蒙る皇況今後財
政之畫策等就

ては、
嶼の内政慮お來

る事とある候仕を、
生

は、
有月おのより、
少々氣

管の考文を、
十日解

平川、
是上為の上、
京

月、
多、
一、
業、
未、
ん

平川子長上為の上京
期も命の延びる来未
廿七八日頃より出巻上京
も事と決定を問着
京を半の直と奉じし
高就お承の致お樂上
要事おとぬ
不敬出

十一月廿二日

直彬

大隈仁兄研北